

**本園の教育  
目標**

幼稚園に係るすべての人が成長と喜びを感じることを出来る幼稚園にすることを目標としている。豊かな自然の中での幼児の遊びを通しての教育を目標としている。幼児が自分で考え選択し行動できる教育を目標としている。

本年度の重点的に取り組む目標

- ① 本園の教育目標「共生」を基にした保育計画に基づいた保育を実施する
- ② 自園給食、食育に対する取り組みについて
- ③ さくら・さくらんぼリズムについて
- ④ 自然保育について

**評価項目**

**取組状況と結果**

|  |   |                            |
|--|---|----------------------------|
| <p>本園の教育目標を取り入れた保育計画を立てて保育を行うことができたか</p> | <p>今年度から0歳児保育も始まり乳児保育室3部屋で認可通りのこども園とした運営できた。職員の中に0歳児の経験者がいたのでスムーズに保育行うことができた。2, 3号認定児が増えたことで、夏休みなどに職員の負担が増えてきている。<br/>こども主体の保育も職員は色々試行錯誤しながらも、いい実践も増えてきた。今後もより質の高い保育を目指していきたい。</p>  | <p>A<br/>B<br/>C<br/>D</p> |
| <p>自園給食、食育に対する取り組みについて</p>               | <p>例年の年長組のお米作りは、粳蒔き、田植えから稲刈り、脱穀して精米したお米を給食で出し、おにぎりにして食べるという食育ができた。その他園内の畑で夏野菜をきゅうり、茄子、ピーマン、かぼちゃ、スイカを植えて食べきれない程豊作だった。秋以降は大根、カブ、人参、玉ねぎを苗植えから収穫まで行い、畑をフル稼働して食育活動を行うことが出来た。</p>   | <p>A<br/>B<br/>C<br/>D</p> |
| <p>さくら・さくらんぼリズムについて</p>                  | <p>模倣する姿を大切にすることで憧れの気持ちが次の意欲へと繋がっている。参加できなかった子に心の変化がみられこれならできるというものには自ら参加するようになった。『静』と『動』を組み合わせることで躍動的になり、1オクターブ上がると早く走ったり下がるとバックの動きになったりとピアノの音を聴き分けることができてきている。年間を通して裸足で取り組むことで健康的な身体をつくり、運動能力や音感、リズム感を経験的に伸ばしていきたい。</p> | <p>A<br/>B<br/>C<br/>D</p> |
| <p>自然保育について</p>                          | <p>年少組以上で、自然環境教育としてムッレ教室を行った。身近な草花や虫や、はっぱが土に戻る様子を観察する等の活動を行った。年長組では葉緑素(クロロフィル)の存在を知って、自然の循環への理解を深めることができたと思う。身近な自然に対する子ども達の関わり方にも変化が感じられた。上西郷川への川遊びを今年は年中組、年長組とも3回行き、地元の自然の中で、生き物を観察することが出来た。自然環境は今後も充実させていきたいと思う。</p>    | <p>A<br/>B<br/>C<br/>D</p> |

## 本園の総合的な評価結果と今後の課題

重点的に取り組む評価項目については職員会議などを通してそれぞれ自己点検・自己評価を行なった。

●子ども達は、猛暑の影響もあったが、外遊びを中心とした生活を楽しみ、一人ひとりが園内の環境を身近に感じながら毎日を過ごし、のびのびと成長していく姿を見せてくれたと思う。草花やどんぐり、葉っぱ、落ち葉といった自然環境も、その時期に沢山の恵みを与えてくれて、思いきり遊びに活用することができたと思う。先生達も季節や環境の変化を意識し、子ども達の遊びを引き出す援助を行うことができた。素朴な遊びの一つ一つに、子ども達の創造力や社会性を引き出し、成長を促す力があると思う。今後もより子ども達の遊びと生活を充実させることで、成長を支えていける保育を行っていききたい。

●今年も園内の畑をフル稼働させて、食育活動が沢山出来た年であった。

今後も食育活動は年間を通じて沢山の行き、身近な自然と触れあい、五感で味わうことで子ども達の自然経験を豊かにしていきたい。栽培するものも、子ども達が育ててみたいものや、今迄栽培したことのない新しいものにもチャレンジしていきたい。

●昨年の反省で1学期はまだ子ども達が色々経験をしていないので、多様なアイデアはあまり出てこなかったとの事で今年は11月末に例年の催しを行った。「作品展」というテーマで年長は町を立体的に作った「すぺしゃるしてーい」や惑星を作って天井から釣り、宇宙船に乗って見てまわる「うちゅう」、お寿司や色々な料理を飾った「おばけすくらん」の3つであったが、子ども達の創造性、想像力、は素晴らしく、それを子ども達からアイデアを引き出した職員、クラスみんなで話し合い作って形にしていた子ども達みんなの素晴らしい成長が見られたと思う。また作品は年中以下の学年の子ども達が見に来て、年長の子ども達は説明していた。異学年の交流が出来たのも今までと違って良かったと思う。

●2号認定の園児が増えており現在保育部は定員の105%程度弾力化し多く受け入れている。それに対して特に長期休みに幼稚園の職員の数を増やして保育部門を運営したが、職員には負担が増えたとの思いがあった。しかし社会全体として共働きが増えているので、今までの幼稚園の夏休みという感覚は通用しなくなってきている。職員の数も増やしていくが、考え方の切り替えが必要な時期になってきている。

●年度途中で産休に入る職員が増えてきて経営側は次の職員の採用が大変であった。職員の意識も変わってきておりそれに対応していかなければならないが、今後も今までの様に次の担任が決まるかどうか分からない。フリーの職員を配置するなど考えていきたいと思う。

●今年は8月に今までにない大雨で福津市も大きな被害を受けた。今後は線状降水帯の被害の恐れがある場合の開園、休園の判断が必要になる。保護者が送り迎え出来ない、職員が帰宅出来ないような事にならないような早めの判断が必要となる。行政機関とも話し合いながら被害が出ないような対策を検討していきたい。

今年度は以上の通り自己評価します。

しらぎく幼稚園  
園長 塩川大輔

令和7年度の学校自己評価を令和8年1月27日におゆうぎ室にて行いました。スライドや動画を交え、本年度の保育の様子をご覧いただきました。

#### 参加された評議員の評価

全員に全ての項目でA評価をいただきました。

#### ■幼児教育アドバイザー 元福津市教育長 大嶋 正紹 さん

##### ◎教育目標のよさ(重点的な取り組みのよさ)

豊かな自然の中での幼児の遊びを通した教育と幼児が自分で考え、選択し、行動できる教育の充実を図ることによって幼児が成長と喜びを感じ、それが園に係るすべての人に広がっていくことを目指してあるのはとてもよいと思います。

○教育目標を取り入れた保育計画に基づいて試行錯誤しながら子ども主体の保育に取り組みれたことは、質の高い保育の実現につながると思います。

○自園給食は米や野菜の成育と関わり、収穫したものを食べる経験がとてもよい食育になっていると思います。

○さくら・さくらんぼリズムは幼児の体全体の感覚に多様に継続的にはたらきかけるよい取り組みだと思います。

○自然保育では身近な草花や虫、上西郷川とふれあう機会を多く設定され、自然や生き物との豊かなつながりがとても良いと思います。

#### ■いそどり信愛保育園 安徳 尊博 先生

認定こども園として2年目を迎えられ、0歳児保育もスタートでき良かったと思います。逆に、こども園への移行に伴い、夏休みなどの職員の負担感が出てきているとお聞きしましたが、これから継続していきながら、社会ニーズや役割について皆で話し合い、価値観や理解を深めていくことも大切であると感じました。様々な思いを抱いていると思うので、思いに耳を傾けつつ、より素敵なチームワーク、素敵な園になっていくことを願っています。

近年は、メディアの普及や便利すぎる社会になり、考えることや相手を思いやること、体を動かす機会や体をコントロールする力、また継続する力等が低下してきていると感じています。その様な中、しらぎく幼稚園での体験は、子ども達の心の成長や人間関係を築いていくために、とても素晴らしい体験をされているなど感じました。

「食育体験」を通して、野菜などが生長していく喜び、自然の恵みや命への感謝について体感できたり、「さくらんぼリズム」を通して、体を動かすことの楽しさや体をコントロールして動かせる機会があったり、「川遊び」を通して自然と戯れる機会があったり、春夏秋冬、様々な感覚を感じ、五感を研ぎ澄まして遊ぶことで、子ども達の心を豊かにしてくれるなど感じました。

本日は参加させていただきありがとうございました。

保護者の方は5名参加いただきました。

■教育目標「共生」を軸に、子ども主体の保育が各分野で具体的に実践されていることが子どもの日々の様子や文章からよく伝わってきました。食育・リズム運動・自然体験など、体験を通して学ぶ活動が豊かで、子どもたちの心身の成長につながり、しっかりと子どもたちに根づいていることを感じました。今後もこの大切な取り組みが、無理のない形で継続されていくことを応援しています。

■自然教育や作品展での子どもたち同士での意見交換や異学年交流など、子どもたちの主体性を尊重して下さる教育方針に毎年感銘を受けています。

今年度は産休に入る先生も多く、経営側としては担任の先生が年度途中で変わるなど不安に思ったかものお話でしたが、今後の先生たちにとって働きやすい環境を整えてくださると先生たちのメンタルヘルスに繋がり、結果子どもたちにも良い影響だと思えます。今後も園と家庭で連携して子どもの成長を支えていけたらと思えました。

■上の子が卒園して以来、4年ぶりにしらぎく幼稚園にお世話になっております。4年間でいろいろ変わっていて、子ども達が自然と触れ合う時間が増えたなあと思いました。うちの子は特に上西郷川への川遊びが楽しかったようで、家に帰ってきた後も「川に行こう！」と言うほどでした。(ただ「自然の中の生き物を観察する」と言うよりは、水遊びを楽しんでいたようでしたが...年長組さんでも川遊びがあるので、来年度は生き物を観察できるといいなあと思っています。)

先日の「1日自由遊びの日」もとても良いなあと思いました。子ども達が自分で何をしたいか考えて行動することができていたようで「とても楽しい1日だった」と話してくれましたし、作ってきた作品をうれしそうに見せてくれました。自分で考えた事でより充実した思い出になったようです。

評価委員会で1番びっくりしたのが「作品展」でした。想像していたよりもとてもすばらしく、子ども達のアイデアのすごさにびっくりしましたし、子ども達のアイデアを形になるようにアドバイス等をされた先生方もすごく大変だっただろうなあと思いました。とてもすばらしい作品だったので、マラソン練習の時のように何日か保護者が作品を見に来れる日があったらいいなあと思いました。(園の先生方の負担にはなりますが、あの作品を間近で見たいです。)

先生方の産休問題、とても難しい問題だなあと保護者として思いました。社会全体で産休・育休が進んでいる中、先生方も産休を取得される方が多くなってきたように思います。途中で担任の先生が変わる事は私は特に悪くは思いませんが、新しい担任の先生を選んだり、採用したりと経営される側は大変ですよね。ただ職員を増やせば良いという問題でもないですし(先生の人柄等も大切だと思うので)産休明けに職員が増えている事も、経営側としては大きな問題ですよね。でも退職を選ばずに産休を選ばれているという事は、それだけしらぎく幼稚園が先生方にとって働きやすい職場なんだろうなあと思います。

最後になりましたが、園長先生をはじめ、すべての先生方に感謝しています。先生方のおかげで子ども達はたくさんの事を園で経験でき、たくさんの事を学んでいます。そして親の私達も安心して働く事ができています。本当に毎日ありがとうございます。

- 1 A 認定こども園となり、やり方や仕組み作り等が難しいと思うが、これから増々保育園の需要は高まっていくと思うので期待したい。
- 2 A 一連の流れを子どもに見せる、体験させている所がとても良いと思った。  
Ex) 苗植え→成長の様子を見る→収穫→食べる
- 3 A 年少以下のクラスでも幼児教育に必要な動きを取り入れて、年中以降の体操教室にも繋がっている所が

良いと思った。

4 A 自然豊かな環境で、草花・虫・魚・四季に触れ合える保育環境はなかなか無いと思うので、素晴らしいと思う。子どもの成長過程において必要なことだと思うので、沢山の経験をさせて欲しい。

今年度よりしらぎく幼稚園にお世話になっています。しらぎくさんの1番良いなと思ったのは、先生方（保育士・事務員の方全て）がいきいきされて働いている所だと個人的には思いました。

職場環境・人間関係・その他色々関係していると思いますが、総合的に働きやすい職場なんだろうなと思っています。（あくまで個人的です）

ニュースでは悲しい事件（不適切保育・誤嚥など）多々目にしますが、安心して預けられている所にも繋がっていると思うので、年度の途中で担任が変わったとしても、何も変わりなく安心して預かって頂ける園だと思います。人材確保や経営面を考えると難しい部分がありますが、今後も先生方が明るく、いきいきとできる環境を続けてほしいなと改めて思いました。昨日は貴重な機会をありがとうございました。

- 1 A いろいろな年齢の子もいるので大変だと思います。その子供にあった対応は難しいと思いますが、R7年度は頑張られたと思います。
- 2 A 園庭もあり、とても良いと思った。
- 3 A 音楽（ピアノ）なども利用して身体を動かすのが苦手な子も楽しく身体をゆらすだけでも参加できているのではないかと思った。
- 4 A 上西郷川に行き、川の中に入るという、いつもとは違ったことがとても楽しかったと言っていた。親の気持ちとしては、靴の中にとてつもない量の砂が入って持って帰ってくるので、洗うのが大変でした。

以前に比べ年間行事が4月の時点で決まっているため保護者も予定が立てやすく、子供と幼稚園との関係もスムーズにいらっていると思う。

昨年8月に水害が起きました。今後どんな自然災害が起こるかわかりませんが、園児はもちろん先生方の安全を一番に考えてほしい。